

# 計量管理部会々報

## 《計量検定所だより》

### ■令和6年度人事異動のお知らせ

#### ◎退職者 (3月31日付け) (敬称略)

- ・主任上席計量員 大倉 健一
- ・主査 小川 美智代

#### ◎転出者 (3月31日付け) (敬称略)

- ・次長 曾我部 伸一
- ・検定/検査課長 桶爪 紀子
- ・計量員 佐藤 優樹

#### ◎転入者 (4月1日付け) (敬称略)

- ・次長 山本 倫也
- ・総務企画課 主査 大井 美佐代
- ・検定/検査課 計量員 朝垣 香太郎
- ・検定/検査課 計量員 藤田 智紀
- ・検定/検査課 計量員 宮村 凪

#### ◎内部異動 (4月1日付け) ( ) は旧配置・職 (敬称略)

- ・検定/検査課長 桶爪 紀子 (総務企画課 上席計量員)
- ・総務企画課 計量員 高野 光 (検定/検査課 計量員)

## 《理事会だより》

### 1. 第60次全体会議 議案集の承認

第60次全体会議議案集が令和6年4月30日付で配布されました。

議案集の各附議事項として、令和5年度事業報告、同年度収支決算報告および監査報告、令和6年度事業計画(案)および同年度収支予算(案)、任期満了に伴う役員改選(案)について各議案が審議され、全47事業所の同意が得られ承認されました。

### 2. 発表会・研修見学会の開催

今年度は、関ブロ千葉大会開催の為、中止と致します。

### 3. 意見交換会の開催

今年度は、関ブロ千葉大会開催の為、中止と致します。

### 4. 研修見学会

今年度は、日帰りにて開催計画中です。(2025年初旬に予定)

## <令和6年度（一社）千葉県計量協会通常総会開催>

(2)

令和6年6月24日（月）ホテルプラザ菜の花において、令和6年度「通常総会」を開催致しました。議決権総数304名のうち210名（出席52名、委任状158名）が出席しました。総会の開催にあたり、瀬口力也会長および、渡辺千葉県計量検定所所長の御挨拶後に、事務局から総会成立の報告、議長選出、議事録署名人の承認を経て、下記の審議に入りました。

### <記>

- ・第一号議案 : 令和5年度 事業報告
- ・第二号議案 : 令和5年度 収支決算報告および監査報告
- ・第三号議案 : 令和6年度 事業計画（案）および同年度収支予算（案）
- ・第四号議案 : 任期満了に伴う役員改選（案）について

第一号議案および第二号議案では、令和5年度に実施した計量協会事業内容等について報告し、異議なく承認されました。

第三号議案の事業計画（案）、収支予算（案）の説明、第四号議案の役員改選とも異議なく承認されました。



### 『会長挨拶』 瀬口 力也 会長

本日の定時総会に当たり、協会役員並びに会員の皆様におかれましては、業務などでご多忙の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

今日はジメジメしていますね。先週中ごろは30℃に届こうかという、6月とは思えない天気为数日ありましたが、今週は少し梅雨っぽい天候になってくれるようで、なんだかほっとするような気持ちがいたします。

さて、計量業界を取り巻く状況としては、世の中一般の動きと相違なく、とにかく各方面の物価高騰が続いております。当業界においても鋼材をはじめとした資材価格の高騰、輸送費の高騰、さらには人材不足による人件費の上昇などなどにより、私が経営しております恵藤計器においても、計量器の検査やメンテナンスのお仕事において、お客様に値上げのお願いをせざるを得ない心苦しい状況となっております。

このような中で、ここ数年来、計量関係業界における大きな関心ごとであった「自動はかりの検定」につきまして、2024年4月1日より、新たに使用する自動捕捉式はかりについて「使用の制限」が開始されました。これ以降、取引または証明に用いる、新たな自動捕捉式はかりを導入する際には、使用する前に検定に合格する必要があるということです。こちらについても、計量器ユーザー様から見ると「規制の範囲が広がった」ということであり、検定コストのご負担が増えるということになります。どこを向いてもコストが上がっているということで、特に中小企業経営においては厳しい局面が続いているかと思えます。

いかに効率的に、無理なく、この自動はかりに関する規制に対応していくために、この計量協会内でのユーザー様間での情報交換が、積極的になされることを期待しております。また、そういったプラットフォームになることが、この協会の本質的な意義なのだろうと考えております。自動はかりの検定につきましても、私もいろいろな機会でも、積極的に会員の皆様と情報交換したいと思います。

今年度の協会事業におきましては、一にも二にも、10月24日に開催される「関東甲信越計量大会 千葉大会」が目玉となります。いよいよ、今日からちょうど4か月後に迫ってまいりました。様々な場面で繰り返しお伝えしておりますが、この計量大会は、当業界において10年に一度当番県が回ってくる大きなイベントでございます。皆様にはすでに正式な開催のご案内文もお送りしており、だいぶ企画も煮詰まってきたところであります。

この「千葉県大会」の成功に向けては、計量管理部会様をはじめとする、協会各部会および会員企業の皆様のご支援が不可欠でございます。事務局より各部会様向けにご協力依頼も差し上げております。皆様におかれましては、業務ご多忙とは存じますが、ぜひ積極的なご参画とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様でぜひ、良い大会にいたしましょう。

### 『来賓祝辞』 千葉県計量検定所所長 渡辺 敏之様

ただいまご紹介いただきました、千葉県計量検定所の渡辺です。

本日は、一般社団法人千葉県計量協会、令和6年度通常総会が盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃、県の計量行政の推進に、瀬口会長様をはじめ会員の皆様には多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、これまで長年にわたり計量思想の普及啓発、計量技術の向上を図るなど、本県の適正な計量の実施に大きく貢献されましたことに、心から感謝申し上げます。

また、先ほど会長表彰を受けられた皆様、誠におめでとうございます。

皆様のご功績に深く敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

引き続き、計量業界の発展に、ますます御尽力くださるようお願い申し上げます。

さて、今年は関東甲信越計量団体連絡協議会計量大会の千葉県大会が成田市で開れます。

1都9県の計量団体の方が一同に集まり計量に関する諸問題について意見交換を行うことは大変有意義なものであると考えております。

皆様におかれましてはご多忙の中のご対応となりますが、大会の成功に向け、ご準備をよろしくお願いいたします。

最後に県の方でございますが、令和5年は、千葉県が明治6年に誕生してから150年の節目の年になることから、昨年6月から、県内各地で記念事業を実施してまいりました。

そして記念事業の集大成として、去る6月15日に九十九里浜でフィナーレイベントを開催いたしました。

この1年間皆様には各事業へのご参加、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

結びに、一般社団法人千葉県計量協会の益々のご発展と、会員事業者のご繁栄、本日ご出席の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。



# 令和6年度表彰委員会審査報告

## (1) 計量管理優良事業所・計量管理功労者

### ① 計量管理優良事業場

令和5年12月に実施した計量管理実施状況調査書を参考に審査を行った結果、下記の通り決定しました。

- ・古河電気工業株式会社千葉事業所
- ・KHネオケム株式会社千葉工場

### ② 計量管理功労者

事業場からの推薦無し

## (2) 『計量管理強調月間』 ポスター・標語入選者

### ①ポスターの部

特賞： 谷苗 恵介 JFEスチール（株）東日本製鉄所千葉地区

優秀賞： 大垣 隆 JNC石油化学（株）市原製造所  
 富里 由加里 （株）荏原製作所富津事業所  
 深野 愛海 （株）荏原製作所富津事業所



特賞：谷苗恵介殿



優秀賞：大垣隆殿



優秀賞：富里由香里殿



優秀賞：深海愛海殿



## ②標語の部

## 特賞

- ・正しい知識で正確計量 はかりで作る確かな品質  
\*徳永 浩之 JNC石油化学(株)市原製造所
- ・確かな精度で 正しく測定 未来を築く計量管理  
\*古津 昇平 住友化学(株)千葉工場
- ・基本を守って正しく計量 未来へ繋ぐ確かな信頼  
\*宮崎 沙織 (株)ENEOS マテリアル千葉工場
- ・確かな計量 得られる信頼 皆で支える計量管理  
\*西山 和希 丸善石油化学株式会社千葉工場

## 優秀賞

- ・基本に忠実 正しく計量 築く信頼 安心社会  
\*麻生 剛 KHネオケム株式会社 千葉工場
- ・信頼築く、確かな計量 みんなで築こう 未来のために  
\*大垣 隆 JNC石油化学(株)市原製造所
- ・正しくはかる重要性 知って向上 計量管理  
\*河登 志織 JNC石油化学(株)市原製造所
- ・正しく測って正しく管理 確かな技術で計量管理  
\*立川 靖大 住友化学(株)千葉工場
- ・正しい手順で確かな測定 みんなで取り組む計量管理  
\*斎藤 智也 住友化学(株)千葉工場
- ・見逃すな 小さな変化が大きなリスク 厳しく確認 計量管理  
\*荒井 友樹 JFEスチール(株)東日本製鉄所 千葉地区
- ・正しい計量 確かな精度 未来に続く計量管理  
\*小田村 勝正 出光興産(株)千葉事業所
- ・正しい知識で広がる信頼 未来へ繋ごう計量管理  
\*前田 ひとみ 古河電気工業(株)千葉事業所
- ・世界に誇れる 確かな計量 あなたが支える JAPAN品質  
\*宮本 尚樹 (株)荏原製作所富津事業所
- ・確かな計量 正しい管理 みんなで守る 計量管理  
\*金城 嵩人 (株)荏原製作所富津事業所

## 計量管理優良事業場表彰を受賞して

古河電気工業株式会社 千葉事業所

この度、千葉県計量協会令和6年度通常総会におきまして、当工場が「計量管理優良事業場」の表彰を賜り、大変光栄に思っております。これもひとえに千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量協会および各会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当工場の計量管理の概要につきまして紹介させていただきます。

## 1. 当社および当事業所の概要

当社千葉事業所は、京葉工業地域に位置しており、面積は67万平方メートルの敷地を有しております。

当事業所は、古河電気工業株式会社の中で情報通信とエネルギー分野における中核工場および開発拠点です。電力インフラを支える電力ケーブル製造、通信を支える通信用メタルケーブル製造や高性能光源製造と、これらを革新的な技術で支える生産技術開発および研究など、製造と研究開発が融合した複合事業所です。

開所は1961年、同年に通信ケーブル工場が操業を開始し、1968年には、電力ケーブル工場が操業を開始しております。

1974年には、世界で初めてとなる光ファイバケーブルの実用化試験に成功し製造を開始し、1987年には、通信用光半導体製造を開始しております。

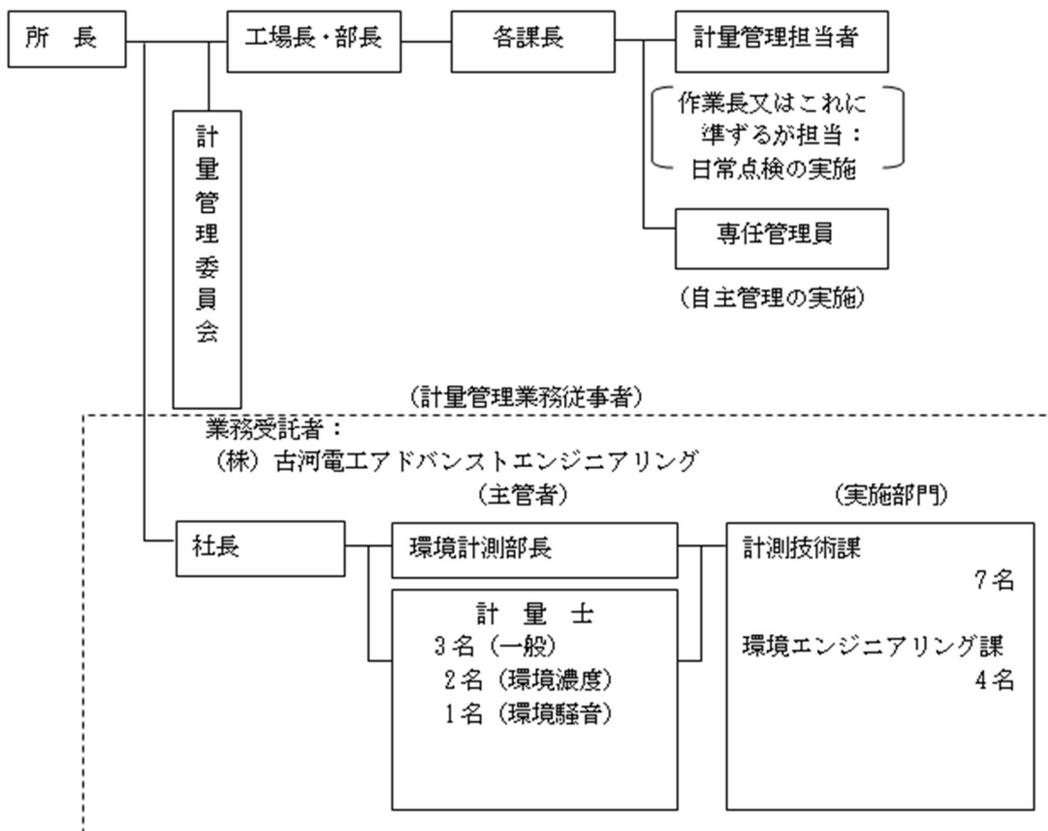
## 2. 計量管理の概要

計量器の機種別台数(概数)を以下に示します。

一般計量(測)器	台数	分析計	環境用	一般用
			台数	台数
長さ計	634台	騒音計	0台	1台
質量計	109台			
温度計	277台	振動レベル計	0台	0台
圧力計	87台			
体積計	2台	ガラス電極式	4台	35台
流量計	2台	水素イオン濃度計		
液面計	0台	大気濃度計	0台	0台
その他	2,473台			

### 3. 計量管理組織

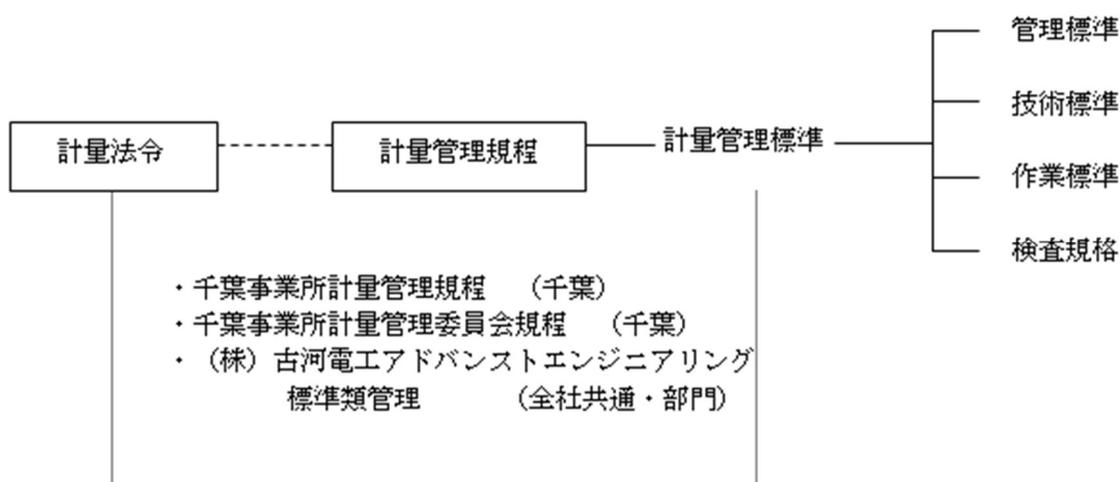
古河電気工業（株）千葉事業所  
（総括責任者）                      （責任者）



当所の計量管理の総括責任者は所長であります。所長は計量管理方針及び基本事項を決定し、計量管理の業務は（株）古河電工アドバンスエンジニアリングに委託しております。部門内の計量管理については、責任者が円滑な運営に努めております。

計量管理に関する主管者としては、（株）古河電工アドバンスエンジニアリング環境計測部長が任じられ計量士と共に計量管理規定に基づく計量管理に遺漏なきを期し、併せて計量管理のレベルアップに努めております。

### 4. 計量管理規定等



(9)

当所に於ける計量管理規程は計測器の整備・原材料の計量、製品の計量、生産工程中の計量及び取引又は証明上の計量並びに環境保全の計量等の正確の保持並びに計量方法の改善、その他適正な計量管理を行うに必要なそれぞれの基準について、計量管理規程を作成しております。

計量管理標準は計測器の管理方法（管理標準）、技術上の条件（技術標準）、作業・取扱方法（作業標準）、検査規格について4種類の標準で定めたものであります。

## 5. 計量器の検査設備

### (1) 基準器

区分	内容 名称	能力	成績書番号	有効期限	設備		備考 (共有先)
					専有	共有	
質 量	1級基準分銅	20kg~1mg	195187 W191006 19F第8号	2024.3.12		○ ○	(株)古河 電エアド バンスト エンジニア リング
圧 力	基準重錘型圧力計	1~100MPa	K-22-L-2947	2027.6.30		○	同上

### (2) 標準器

種類	型式又は能力	数量	専有・共有	備考
電気式はかり	0~41/210,2100,6100g,22kg	4台	共有	質量
2級実用基準分銅	1~20kg、51ヶ組	1組	〃	〃
標準ブロックゲージ	1.005~60mm、27ヶ組	1組	〃	長さ
〃	1.001~1.009mm、9ヶ組	1組	〃	〃
キャリパーチェッカー	300mm、600mm	2台	〃	〃
ガラス製標準スケール	50mm/300mm	1式	〃	〃
ハークゲージ	25~300mm、12ヶ組	1組	〃	〃
直尺	1m	1台	〃	〃
キャリブレーションマスター	25mm、0.001mm	1台	〃	〃
環状ばね型力計	100kN、50kN、10kN、5kN、1kN	5台	〃	力
標準光パワーメータ	0.4~1.8um/-20~10dBm	1台	〃	光
光波長計	700~1650nm	1台	〃	〃
マクマトン基準真空計	1400~1.3x10 <sup>-2</sup> kPa	1台	〃	圧力
通風型乾湿計	+40°C~-20°C	1台	〃	温度
単色放射温度計	800°C~1500°C	1台	〃	〃
ストップウォッチ	10時間計 0.01秒型	1台	〃	時間
周波数カウンタ	10~1000MHz	1台	〃	電気
静電結合標準器	CUS-1	1台	〃	〃

## (3) 検査設備

種 類	型式又は能力	数 量	メーカー名	専有・共有	備 考
巻尺検査台	5m	1 台	山林理化	共有	
巻尺巻取装置	張力 6N (600gf)	1 台	自社製	〃	
黒体炉	500～1550℃	1 台	東京精工	〃	
中温用検度槽	常温～270℃	1 台	三英製作所	〃	
禁油水槽接手	1000kg/cm <sup>2</sup>	1 台	双葉測器	〃	
引張試験機圧縮加 <sup>ろ</sup>	50kN 用	1 台	丸東製作所	〃	
高真空排気装置	1×10 <sup>-6</sup> Torr	1 台	日本真空技術	〃	
加圧ポンプ <sup>ろ</sup>	0～0.833MPa	1 台	旭計器工業	〃	
定盤	600×450×130mm	1 台	藤岡精工	〃	
ケーシングロック・アケサリ <sup>ろ</sup>	---	1 台	黒田精工	〃	

検査設備については上記の他に約 20 点を専有。

## 6. 計量管理の管理状況

## (1) 受入検査

- (ア) 新規購入した計量器、又は外注修理品の受入には主管部門及び計量士が受入検査（新品又は外注修理品を受け入れる際に行う構造・性能及び器差検査）を行っております。
- (イ) 検査の手続きは資材課購買担当者、又は使用部門担当者が現品に伝票を添付の上、主管部門に持込み検査を行っております。

## (2) 定期検査

計量器の使用中のもの及び保管中のものについて計量士及び主管部門が定期検査を行っております。検査の手続きについては主管部門にて定期検査予定表を作成し、関係部門に連絡しております。定期検査は、1～2回/年の周期で実施し、合格した場合は、有効期限ラベルを貼付しております。主な対象計量器は次の通りです。

マイクロメータ・ダイヤルゲージ・ノギス・電線回転尺・巻尺・直尺・円周尺・はかり・ガラス製温度計・万能投影器・電圧電流計・引張試験機・ストップウォッチ・圧力計・マノメータ・Cメータ・ピラニ真空計・抵抗計・発振器・増巾器・断混線試験機・分銅・スパークテスタ・耐圧試験機・PH計・電気式温度計・ケーブル自動検査装置・光測定器等。

大型はかり、高周波電気計器など特殊なものについては、メーカー又は校正業者に外部委託しております。主な外部委託品：トラックスケール・ネットワークアナライザ・酸素濃度計など。

## (3) 臨時検査

簡易修理検査と不定期検査があります。外部委託の実施について、上記(2)定期検査の通りです。

## (ア) 簡易修理検査

計量法施行規則第 11 条で定められている範囲での修理をした特定計量器の検査を言い当事業所では計量法令に従い計量士により実施しております。

## (イ) 不定期検査

計量器の機能に異常を認めた場合・落下衝撃を与えた場合及びその他の事由による精度に疑義を生じた場合等において、使用職場の請求により計量士及び主管部門 が不定期検査を行っております。

## (4) その他

## (ア) 日常点検

製造課等の各課で使用されている計量器の日常管理は各課の作業組単位に計量管理担当者が置かれ、主管部門と連携協力しながらその作業組内における計量器の取扱指導を行っており、全員参加で計量器の日常管理を行う体制をとっております。

(イ) 異常処理方法

生産活動を円滑に行う為、使用中の計量器の指示不良・動作不良等により計量器に異常が発生した場合、使用職場からの連絡により主管部門は直ちに故障個所を修理し又、修理不可能な計量器は予備計量器と交換し生産に支障の無い様に処置しております。製造課等の各課で使用されている計量器の日常管理は各課の作業組単位に計量管理担当者が置かれ、主管部門と連携協力しながらその作業組内における計量器の取扱指導を行っており、全員参加で計量器の日常管理を行う体制をとっております。

(ウ) 計量器の移動・廃却及び紛失の処置

計量器使用職場で移動・廃却及び紛失の処置を行う場合、主管部門及び計量士がその処置が適切かどうか検討判断する手続きを定めております。

上記により、計量器そのものの現物管理・台帳管理・資産管理の徹底が図られております。

## 7. 量目および品質の検査

内容 区分	項目	規程・基準類		検査の対象物	検査の実施状況
		有	無		
原 料	量 目	有		銅	銅の質量 (全数検査)
		〃		ポリエチレン	ポリエチレンの質量 ( 〃 )
		〃		絶縁紙	絶縁紙の荷 (質量・長さ) ( 〃 )
		〃		鉛	鉛の質量 ( 〃 )
		〃		アルミニウム	アルミニウムの質量 ( 〃 )
	品 質	有		銅	化学成分 (抜取検査)
		〃		ポリエチレン	溶融粘度指数、異物 ( 〃 )
		〃		絶縁紙	厚さ・密度・気密度・ 引張強さ・伸び ( 〃 )
		〃		鉛	化学成分 ( 〃 )
		〃		アルミニウム	化学成分 ( 〃 )
製 品	量 目	有		荒引線	荒引線の質量 (全数検査)
		〃		電力ケーブル	電力ケーブルの長さ ( 〃 )
		〃		通信ケーブル	通信ケーブルの長さ ( 〃 )
	品 質	有		銅荒引線	線径・伸び・導電率 (全数検査)
		〃		アルミ荒引線	引張強さ・導電率 ( 〃 )
		〃		電力ケーブル	線径・導体抵抗・ 絶縁抵抗・絶縁耐力 ( 〃 )
		〃		通信ケーブル (双)	線径・導体抵抗・ 絶縁抵抗・静電容量 ( 〃 ) 静電結合
		〃		通信ケーブル (光)	コア径・偏心率・ 屈折率・ロス・帯域 ( 〃 )

## 8. 計量管理に関する改善活動

- (1) 校正業務の効率化を図るため、パソコンによる検査成績書等の自動作成を積極的に進めております。
- (2) 法改正等の迅速な情報を得るため、インターネットによる検索などの標準化を図りました。

## 9. ISO取得状況（取得年月日）

ISO9001（1998年3月18日）

- (1) ISO14001（1998年6月18日）
- (2) ISO22301（2011年1月24日）
- (3) ISO45001（2022年8月18日）

## 10. 教育指導訓練

### (4) 巡回指導

主管者および計量士は、随時巡回指導を実施し、計量器の異状の有無とその適正使用の状況を点検すると共に計量方法などの指導を行っています。

### (5) 教育

主管者および計量士は、計業業務に従事する従業員に対し計量管理推進に必要な知識の普及を図るため、計量管理の概念、計量方法および計量器等の取り扱い方法を教育指導しています。

主管者および計量士は、業務遂行上必要のあるときは、協力工場についても社内と同じ教育指導を実施しています。

以上、当事業所における計量管理の概要を紹介させて頂きました。今回の受賞を励みに、更なる計量管理の向上と計量業界全体の発展に努める所存でございます。引き続き関係各位のご指導ご支援の程よろしくお願いいたします。

## 計量管理優良事業場表彰を受賞して

### KHネオケム株式会社千葉工場

この度、千葉県計量管理協議会 令和 6 年度通常総会におきまして、当工場が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所ならびに千葉県計量管理協議会会員皆様のご指導・ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当工場の計量管理の概要について紹介させていただきます。

#### 1. 当工場の概要

千葉工場は、京葉臨海中央地区コンビナート内の市原市五井南海岸で昭和40年から操業を開始致しました。製品として、可塑剤原料である工業用高級アルコールや合成脂肪酸、炭化水素類などの機能性製品を製造しています。高圧オキソ法による高級アルコールの効率的な製造を可能にしています。エアコンなどで使用される代替フロンに対応した潤滑油原料のイソノナン酸は国内では当社のみでの製造で、海外に向けても供給されています。



KH ネオケム(株)千葉工場 全景

#### <工場のおゆみ>

- ・1965年1月 日産石油化学(株) 設立
- ・1988年7月 日本オキソコール(株) 設立
- ・1991年7月 協和油化(株) と合併
- ・2004年4月 協和発酵ケミカル(株) に社名変更
- ・2012年4月 KHネオケム(株) に社名変更

#### ・主な製品

アルコール：ノナノール、イソノナノール、デカノール、トリデカノール

有機酸：合成脂肪酸

炭化水素：イソオクタン、イソノナン

可塑剤：D I N P、D I D P

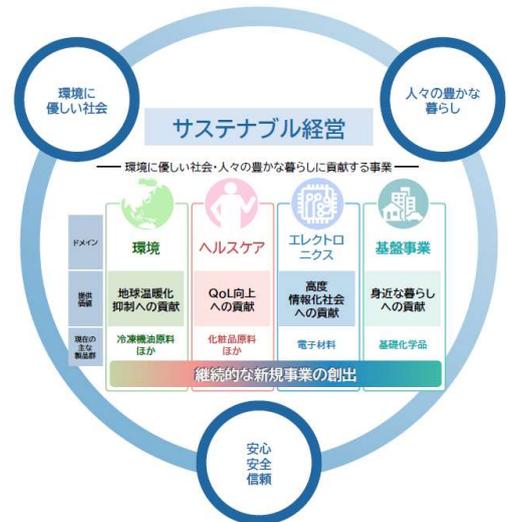
#### ・用途

塩化ビニール用可塑剤原料

塩化ビニール用添加剤

洗浄剤（塩素系溶剤等を代替）

代替フロン対応冷凍機向け潤滑油原料

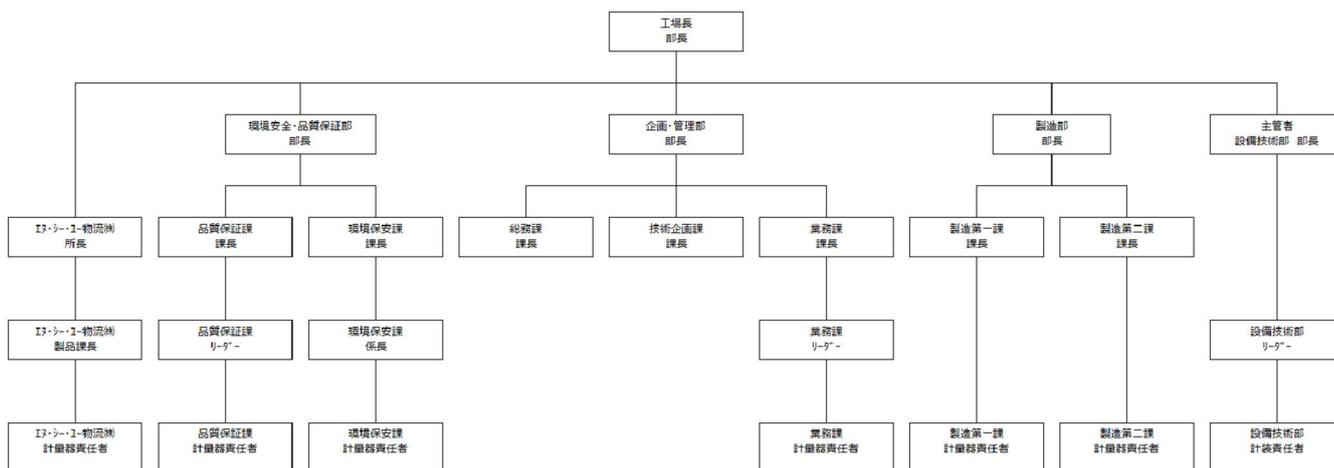


## 2. 計量管理の概要

計量器の機種別台数(概数)を以下に示します。

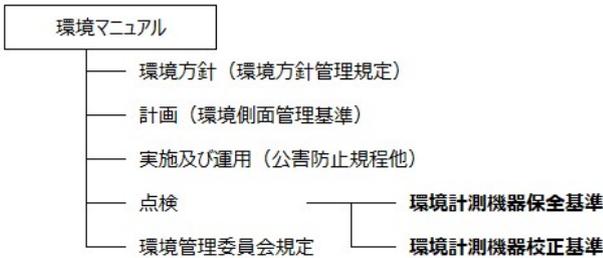
(1)一般計量(測)器		(2)分析計	
質量計	8台	騒音計	0台
温度計	750台	振動レベル計	0台
圧力計	1,500台	PH計	33台
体積計	50台	大気濃度計	3台
流量計	400台		
液面計	350台		

## 3. 計量管理実施の組織



## 4. 計量管理規程類





## 5. 計量器の検査設備

### (1) 基準器

重錘型圧力計

### (2) 標準器

標準二重式温度計、標準圧力発生器、デジタル圧力計、電圧発生器、デジタルマルチメーター、標準可変抵抗器等

### (3) 検査設備

絶縁測定器、デジタル温度計、照度計、騒音計、周波数計等

## 6. 計量器及び計装設備の管理状況

### (1) 受入検査

検査基準及び購入仕様書に基づいて、計装担当者が外観・構造・寸法・性能検査及び員数検査等を実施しています。

また、機種等（検査基準による）により製造工場での立会検査を実施します。

### (2) 定期検査

・法及び取引対象計器は、関係法規、契約等に定められた周期で検査を実施し、その他の計器は検査基準（計器の重要度により検査周期を設定）に

より検査を実施しています。

・秤の検査については、京葉はかり協議会に加盟し整備検査後に、計量検定所の検査を受けています。

### (3) 臨時検査

・計量器及び計装設備の異常を認めた場合は、製造部からの依頼により計装担当者が臨時検査を実施し対応します。

・計装担当者で修理不可の場合は外部（製造メーカー等）に依頼し、不具合内容により立会確認を実施します。

## 7. 量目及び品質の検査

### (1) 原料

#### ① 量目

・近隣各社との取引に関しては、取引流量計にて計量します。取引流量計は、決められた周期にて検査を実施しています。協定誤差を超えた場合は臨時検査を実施します。

・タンク受入原料に関しては、トラックスケール又は

タンク液面計にて計量します。

・これらの計器は、決められた周期にて検査を実施し、

協定誤差を超えた場合は臨時検査を実施します。

#### ② 品質

・近隣各社取引、タンク受入原料ともに、相手先分析表による確認検査を実施、定期的に弊社分析計による検査実施します。

## (2) 製品

### ① 量目

- ・ドラム出荷；ドラム充填機にて充填後、取引用台秤による計量
- ・ローリー出荷；トラックスケールにより計量
- ・船出荷；取引用流量計による計量

### ② 品質

- ・工程最終点及び製品タンクにてロットごとにラボ分析を行います。

## 8. 計量管理に関する改善活動

- ①改善提案表彰制度により、従業員の創意工夫を奨励、表彰する活動を展開しています。
- ②劣化計器、製造中止計器の更新について、定期検査結果の傾向や重要性を考慮し計画を立案し更新を行っています。
- ③計量器や計装設備の不具合に対し、原因を分析し、類似計器へ水平展開し不具合対策を行っています、その原因と対策内容によっては基準書の改訂も行っています。
- ④計量器や計装設備の関係法令改訂やトラブルに対し、周知する必要がある場合は部内勉強会を開催し、関係者へ周知・意見反映させています。

## 9. ISO関連取得状況

ISO9001	1998年12月登録
ISO14001	2000年11月登録

## 10. 教育・訓練

### (1) 一般従業員

社内教育（階層別教育）により、経験年数に応じ、プロセスや計装知識の教育を実施しています。

### (2) 計量管理担当者

社内教育（階層別教育）により、経験年数に応じ、計量管理、計測器、測定器の教育を実施しています。

また、関係法令・通達や新技術導入に関しては外部技術講習会やメーカー主催セミナーへ参加し、その内容を部内勉強会にて部員への伝達教育を実施します。

### (3) 協力事業場

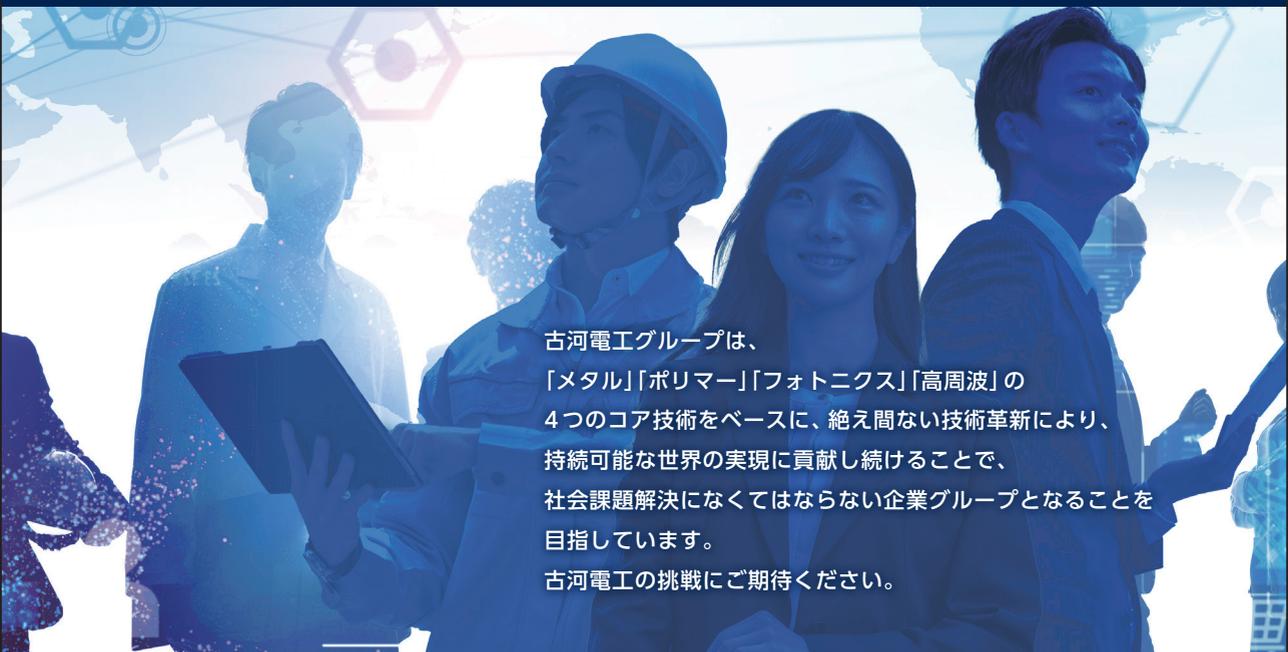
ISO や基準書改訂や関係法令改定時には、設備技術部が協力会社監督者へ教育を行い、協力会社の作業員に対しては、当該会社の監督者により、教育指導を実施しています。

以上、当工場における計量管理の概要を紹介させて頂きました。

今後も、今回の受賞を励みに、更なる計量管理活動の継続的改善に繋げていきたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 今日も挑み続ける



古河電工グループは、  
「メタル」「ポリマー」「フォトニクス」「高周波」の  
4つのコア技術をベースに、絶え間ない技術革新により、  
持続可能な世界の実現に貢献し続けることで、  
社会課題解決になくてはならない企業グループとなることを  
目指しています。

古河電工の挑戦にご期待ください。

古河電気工業株式会社

情報通信ソリューション、エネルギーインフラ、自動車部品・電池、電装エレクトロニクス材料、機能製品

# 未来へ、羽ばたく。

創業以来、私たちKHネオケムは、

「新たな一步を踏み出す」ことを行動指針として掲げ、  
高い技術力と研究力を有する化学素材メーカーとして、

人と社会、様々なものづくりに貢献しつづけてきました。

加速度的に変化する社会に適応し、よりよい未来を築くため、

私たちはさらなる一步を踏み出します。

私たちにしかできない技術や製品で、

社会とともに大きく飛躍していく企業へ。



「化学の力」でよりよい明日を実現する

**KH NeoChem**

KHネオケム株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-3-1

TEL: 03-3510-3550 FAX: 03-3510-3571

[www.khneochem.co.jp](http://www.khneochem.co.jp)



**JCSS**  
JCSS 0314

恵藤計器株式会社校正室は  
国際MRA対応 JCSS 認定事業者です  
JCSS 0314 は当社校正室の認定番号です



ETO scale works

# 恵藤計器株式会社

本社・工場 〒261-0002 千葉市美浜区新港142-3 電話 043(242)0505(代表) FAX 043(243)2519

産業用はかり・トラックスケール・商業用はかり・電子天びん・分銅  
質量計製造（経済産業大臣登録）・販売修理（知事登録）